

東欧ユダヤ人の音楽 「クレズマー」をめぐる対話

シェーン・ベイカー氏に聞く、
イディッシュ文化と笑い



2019年3月24日(日) 14時30分～17時15分
東京外国語大学 本郷サテライト 5F セミナールーム
【入場無料】

科研費補助金基盤研究(B) (課題番号 : 18H00783)

「ディアスポラの記憶と想起の媒体に関する文化人類学的研究」

科研費基金基盤研究(C) (課題番号 : 16K02352)

「新移民音楽の受容とフォーク音楽との関係を、音楽言説の観点から検討する」

リヴァイヴァルから 30 年を経た今日もなお、新たな展開を見せつづける音楽「クレズマー」。このリヴァイヴァルは音楽だけではなく、イディッシュ文化そのものの再評価にも繋がり、ニューヨークの「フォルクスピーネ」などが国内外の劇場と連携して、懐古趣味とは異なるイディッシュ劇を模索しています。こうした展開のなかでも「ゴイ」(非ユダヤ人)として、イディッシュ・コメディを追求するシェーン氏に、そのユニークな活動を語ってもらいます。

シェーン・ベイカー(Shane Baker)氏のプロフィール

ヨーロッパの先人たちの薫陶を得て、イディッシュ劇の世界に飛び込む。イディッシュ劇の女形を演じる新作を引っさげて、ベルリンからブロンクスまでをツアー。ミュージカルとはひと味違うショレム・アレイヘムを再構築するため、最新作『料理される以前のテヴィエ』(Tevye Served Raw)を上演(オフ・ブロードウェイ)。『ゴドーを待ちながら』をイディッシュ劇に仕立て、「ベケットにもついに母語が見つかった」とニュー・ Yorker 誌から評された。

14:30-14:45	開場
14:45-15:00	黒田晴之「イディッシュ音楽のなかの笑い」
15:00-16:00	シェーン・ベイカー「イディッシュ文化と笑い」
16:00-16:15	休憩
16:15-16:30	質疑応答
16:30-16:45	休憩
16:45-17:15	シェーン・ベイカーによるコメディの実演(友情出演あり) (使用言語は基本的に英語で、部分的に日本語を用います。)



東京外国語大学 本郷サテライト

地下鉄 (丸ノ内線・大江戸線) 「本郷三丁目」 駅下車徒歩 5 分
JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」 駅下車徒歩 10 分

連絡先 松山大学経済学部 黒田晴之 (kuroda@g.matsuyama-u.ac.jp)